

本道の小規模企業振興のあり方について（素案）《骨子案》

1 本道の小規模企業の現状と課題

- (1) 小規模企業の現状
- ・小規模企業の位置づけ（中小企業の9割、雇用では4割を占め、地域の経済・雇用を支える重要な担い手）
 - ・厳しい経営環境（人口減少、少子高齢化による過疎化の進展による需要減、大規模小売店の進出等による競争の激化、人手不足、後継者難等）。
 - ・事業所数の減少（改廃業率の逆転、過去10年で2万6千社の減少、後継者不在率が全国最高、進まない企業の新陳代謝）
- (2) 小規模企業の特徴
- ・地域経済はもとより地域社会を支える存在（きめ細やかな需要に対応、にぎわいの創出等）
 - ・地域の事業環境の影響を受けやすい（狭い商圈、下請け企業が多い等）
 - ・脆弱な経営基盤、経営資源（商品開発力や人材に制約がある等）

※関連データ及び関連した部会における主な意見・提言を記述

2 小規模企業支援の必要性

- ・人口減少、少子高齢化社会への対応（小規模企業の事業活動の継続、新陳代謝の促進は、地域経済の活性化、地域の社会基盤を守っていく上で必要不可欠）
- ・国の動きに呼応した対応（小規模企業振興基本法の制定、地方創生への取組）

※関連した部会における主な意見・提言を記述

3 小規模企業の振興に向けた基本的な考え方

- (1) 経営体質の強化
- ・企業や地域の特性に応じたコンサルティングの実施等による経営改善、企業価値の向上
- (2) 事業承継の促進
- ・企業の円滑な後継者対策の促進による地域の事業活動を維持・継続
- (3) 創業の促進
- ・女性や若者など新たな担い手による創業の拡大

※関連した部会における主な意見・提言を記述

4 基本的な考え方に基づいた支援施策のあり方

- (1) 経営体質の強化
- ・関係機関による顔の見えるネットワークの構築・活用による、きめ細かなコンサルティング機能の実現
 - ・人材の育成活用（多様な企業ニーズに応じた従業員研修やU I J ターン人材の活用）
 - ・新製品、新サービスの開発、IT化の推進、販路拡大の促進などによる売上拡大
 - ・円滑な資金調達の推進
 - ・各種情報のきめ細かな提供
- (2) 事業承継の促進
- ・事業承継の重要性に係る理解促進、企業価値の向上、マッチング機会等の拡大
 - ・各種情報のきめ細かな提供（再掲）
- (3) 創業の促進
- ・起業家意識の啓蒙、女性や若者、U I J ターン人材などによる創業、第二創業への支援
 - ・クラウドファンディングの活用など多様かつ円滑な資金調達
 - ・関係機関による顔の見えるネットワークの構築・活用による、きめ細かなコンサルティング機能の実現（再掲）
 - ・各種情報のきめ細かな提供（再掲）

※関連した部会における主な意見・提言を記述

5 支援施策の推進の考え方

- （・小規模企業施策推進の実効性の確保方策の検討。）